



～図書室にはこんな本があります～

No. 113

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 戦時中の^{きょうれん}軍事教練の様子分かる写真を見たい。

答) 「軍事教練 写真」をキーワードとして、ことば検索します。

図書 → ことばから調べる → 軍事教練 写真 → 調べる ⇒ 20 件該当

『写真 昭和50年史』(開架写真集 210.7/Ka18)

『戦争と庶民 1』(開架大型 210.7/Se73/1)

『目で見る調布・狛江の100年』(開架写真集 213.6/Me14)

『一枚の古い写真』(閉架一般 213.7/O22)

『新潟県民の太平洋戦争』(開架写真集 214.1/N72)

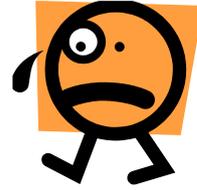
『日本陸海軍八十年』(閉架一般 392.1/Ko53)



※ 同じキーワードで閲覧室にある本を調べたいときは…

図書 → ことばから調べる の画面の中にある [開架 閉架] の部分で、閉架の をはずして下さい。(クリックするか触れるとチェックがはずれます。)すると閲覧室にある本のみが表示されます。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



このシリーズでは、昭和11年10月に政府が官報の附録として発行した『週報』より、主に生活に関する記事を紹介していきます。

第7号(昭和11年11月25日発行より)
航空国策に就いて—通信省

第一次世界大戦後、欧米諸国がこぞって力を注ぎ、振興に邁進したのが航空事業であるが、大戦を直接体験しなかった日本の航空事業は、これに比べてかなり貧弱なものであった。列国民間航空事業を比較した表を見ると、民間航空予算、民間飛行機数等いずれも欧米諸国に比べてかなり劣っている。(民間飛行機数は、アメリカ6,339機に対して日本699機。)

また、その重要性に対する認識も低かったため、通信省はその絶対的な必要性を述べ、航空事業振興策を示している。(以下)

1. 航空路の完備拡張

国営の民間用飛行場数は十指を屈するに足らず、その規模に於(お)いて設備に於いて甚(はなは)だ不十分で列国の足下にも寄りつけない状態である。地元府県の協力を得て飛行場を設置し、国内航空路網の基地にすることが今日の急務である。

2. 乗員の要請

操縦士、機関士等の要請機関の統制を図(は)かり、其(そ)の施設の改善を期(き)して優秀なる乗員の増加を企てる必要がある。

3. 航空工業の助長(じょちょう)統制

学理(がくり)に於いても技術に於いても、優秀なる飛行機を生産し得る能力は充分備えているが、民間用飛行機は需要が少なく、製作には相当多額な経費を要するため、進んで新式の製作に励むものがない。よって政府は、航空試験所の設備を整え、航空工業の指導の任に当たり、同時に試作に必要な奨励方法を講(こう)じて、その価格を安価ならしむ様(よう)考慮している。

4. 内外航空網の完成

最も力を致さねばならぬことは、海外に対する航空路の開拓である。欧米列国の航空勢力が先占的(せんせんてき)に東洋の地に進出を競(き)きつついる真(ま)っ直中に容易なことではないが、先ず何事を措(お)いても実現に向かつて邁進(まいしん)せねばならぬ。

5. 航空事業の奨励

航空機の産業利用化を図る為(ため)、飛行機より魚群探見(ぎょぐんたんけん)をなさしめて漁撈(ぎょろう)に資したり、空中写真及空中測量事業の発達を図ったり、国民間に航空機操縦術の習得及伎倆(ぎりょう)保持の機会を与えるための団体設立を助成したりと、今後一層拡充していく必要がある。

(* 旧漢字、旧仮名遣いは改めました)

— 図書室から—

ようやく梅雨が明け、蝉の声が聞こえてきました。今年も暑くなりそうです。

図書室の蔵書は、当館のHPからも検索できます。所蔵資料や夏休み宿題・研究リスト等も紹介していますので、一度ご覧ください。(アドレス:<http://www.showakan.go.jp/>)

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ No. 113

2009年7月22日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1